



五木東小 第7号

学校便り
文責
生田 文明

一人一人が輝いた 大運動会

五木村保小中高合同大運動会(十八日)の入場行進が始まるとぽつぽつと雨が！「降らないで！」会場のすべての方々の願いが聞こえてきました。

その思いがまさに天に通じたのでしようか、しばらくすると雨が止み、素晴らしい運動会日和となりました。

堂々と開会宣言をした一年生。はつらつと大会の誓いをした紅白団長。とても緊張したと思いますが、見事に大役を果たしました。

ゴールを目指し、最後まで一生懸命走る子どもたち。家族の真剣勝負が見られた親子リレー、学年が上がる毎に子どもの走りも速くなり、なかなか追いつけない大人のつらさを・うれしさを拝見させていただきました。我が子の成長を直に感じられたのではないのでしょうか。

一・二・三年生のダンス「Choo Choo TRAIN」では、難しい動きを見事に覚え、ポーズも決まり、かつこよく演じることができました。四・五・六年生の「高野の棒踊り」では、太刀と棒の息を合わせ、上手に舞うことができました。

親子の温かい、ほのぼのとした雰囲気を出した保育所の「ハッピーくまモン」。会場のすべての方々を魅了した中高校生の「手話演舞」「カラーガード」。



「保小中高合同大運動会ならではの、乳幼児期から青年期までの子どもの成長を目の当たりにできる運動会でした。」

保護者・地域の皆様には、各競技・演技への参加だけでなく、準備や後片付けにも、ご支援・ご協力いただき、誠にありがとうございました。次年度は、小学校が当番校となります。



緑に親しみ、緑を守り、緑を育てる

緑の少年団結団式

二十二日(木) 副村長・人権擁護委員の皆様との参加のもと、緑の少年団結団式と「人権の花」運動の一環として、ミニひまわり・マリーゴールドの種まきを行いました。

結団式では、団長が団員を代表して「緑を愛し、森林を守るために気づき・考え・行動します。」と誓いました。また、今年度の活動への



関心を高めるために、昨年度の栽培活動・植樹・ツリークライミングなどをスライドでふり返りました。

緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人に育つことを目的とした緑の少年団。今年もふるさと五木の素晴らしい自然の中で、豊かな心を育てる活動を行っていきます。

パントマイムに挑戦

六月二十七日に文化庁主催の「文化芸術による子供の育成事業」(カンジャマ・マイムによるパントマイム公演)が五木東小・五木中学校児童生徒及び村民を対象に開催されます。その一環として、二十三日(金)に本校五・六年生児童を対象としたパントマイムのワークショップが開催されました。

「パントマイム」という言葉を初めて聞いたという児童も多く、最初は少し戸惑いもありましたが、カンジャマ・マイムさんの子どもたちを引きつける素晴らしい指導で、「壁に触れる様子」「長縄跳びをする様子」「エレベーターで地下に降り、買い物をしてくる様子」等を見事にパントマイム(身振り)で演じることができるようになりました。公演会当日は、様々なマイムが披露されるとのこと。今からとても楽しみです。

